

かながわ水源環境保全・再生施策

最終評価報告書（暫定版）



かながわ しずくちゃん

水源環境保全・再生

イメージキャラクター

令和6年3月

水源環境保全・再生かながわ県民会議

<はじめに>

水は、私たちの「いのち」を育み、暮らしや経済活動を支える大切な資源です。

この水を守り、将来にわたり良質な水を安定的に私たちが利用していくためには、水源地域の自然環境が再生可能なうちから保全・再生に取り組む必要があります。

そのため、神奈川県では平成19(2007)年度以降、20年間にわたる水源環境保全・再生の取組全体を示す「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」と、この施策大綱に基づき5年間に取り組む特別な対策を盛り込んだ「かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」を第1期から第4期まで策定し、水のかん養や浄化などの機能を果たす水源地域の森林整備事業や、水質向上のための生活排水対策などを推進してきました。

私たち「水源環境保全・再生かながわ県民会議」では、平成19(2007)年4月に設置されて以降、水源環境保全・再生施策について、県民の立場から施策の点検・評価を行い県に対し報告・提言を行うとともに、県民に対する普及啓発や情報提供など様々な活動を実施してまいりました。平成27(2015)年度、令和3(2021)年度には、それまでの事業実績やモニタリング結果を基に、総合的な評価(中間評価)を実施し、施策の前半を総括しています。

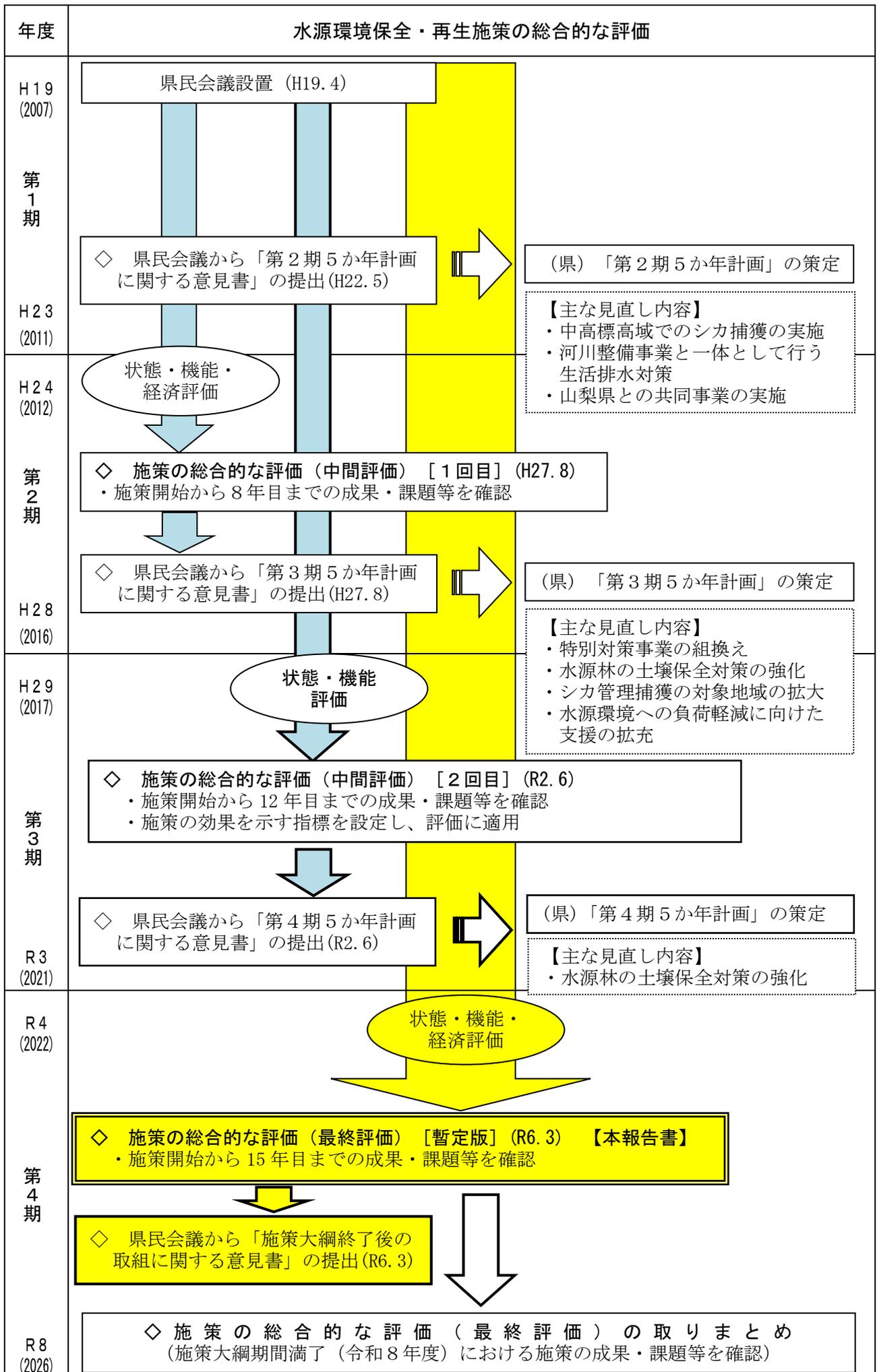
「かながわ水源環境保全・再生施策大綱」で定められた期間も残すところあと3年となりますので、総合的な評価(最終評価暫定版)を作成し、平成19(2007)年度以降の取組の成果や今後の課題等を確認した上で、県に対し提言や報告を行い、施策大綱終了後の施策につなげたいと考えております。

今回の総合的な評価(最終評価暫定版)の実施に当たっては、県民会議でも検討・設定した「施策の効果を示す指標」を前回の中間評価に引き続き使用しつつ、県民の皆様へも分かりやすく、また、定量的な評価ができるよう評価を行っています。

第1部では施策大綱が作られた背景について、第2部では施策の特徴的な仕組みについて、第3部では施策の評価について、第4部では、施策大綱終了後の課題について記載しております。

これまでの取組による成果や課題等については、本書の第3部に記載していますが、水源環境の保全・再生を図るためには、長期的な視点からの継続的な取組が必要不可欠です。神奈川の水源を守り育て、良好な状態で次の世代に引き継いでいくためにも、引き続き、施策に対する県民の皆様のご理解とご協力をいただければ幸いです。

水源環境保全・再生かながわ県民会議
座長 土屋 俊幸



目 次

<はじめに>

第1部 かながわの水源環境の特色と歴史

1	水利用の観点からみた神奈川県の特徴	1
2	水資源開発の歴史	5
3	水源地域の森林の歴史	8
4	森林の多面的機能と森林管理	14
5	水源環境保全・再生施策の導入	
(1)	導入経緯（課題認識）	16
(2)	大綱のとりまとめと実行計画による施策の推進	17

第2部 水源環境保全・再生施策とその実施

1	施策大綱と特別対策事業の枠組み	19
2	各特別対策事業の実施内容	25
3	水源環境保全・再生事業の特徴	
(1)	県民意志を基盤とした施策展開	28
(2)	順応的管理考え方に基づく施策の推進	30
4	水源環境保全・再生施策の評価について	
(1)	施策評価の考え方	36
(2)	施策体系に基づくモニタリングと期待される効果	38
(3)	施策評価のための水環境モニタリング	39

第3部 水源環境保全・再生施策の総合的な評価

1	事業費および事業量による評価（アウトプット）	
(1)	特別対策事業の実施内容と進捗率（事業費と実施面積など）	42
(2)	特別対策事業実績一覧	46
2	森林に係る事業効果（1次・2次アウトカム）	
(1)	森林関係事業の概要	55
(2)	確認された事業効果	59
(3)	森林にかかる事業効果のまとめ	66
3	水環境に係る事業効果（1次・2次アウトカム）	
(1)	水源水質に関する効果	69
(2)	生態系の健全性に関する効果	77
(3)	水環境に係る事業効果のまとめ	84
4	施策で実現した効果の経済的な評価	
(1)	評価の目的	86
(2)	評価結果（支払意思額に関する調査）	86
(3)	評価結果から見てきたこと	87
5	施策全体の評価（最終アウトカム）	88
6	水源環境保全・再生を推進する仕組みの評価	
(1)	順応的管理の考え方の基づく施策推進の評価と見直し	91
(2)	県民の意思を基盤とした施策展開（県民会議）の評価	

ア 水源環境保全・再生かながわ県民会議	93
イ 市民団体の活動支援	97
7 全体総括	
(1) 主な成果	98
(2) 課題	99

第4部 今後の水源環境保全に向けた見通しと課題

1 水資源の需要と安定的確保に向けた見通し	101
2 環境と社会の動向	102
3 水源環境保全・再生にかかる長期展望	105
4 大綱期間終了後の県の取組に係る基本的考え方	107

○ 資料編

<評価資料>

1 各事業の評価の流れ図（構造図）	資-1
2 事業評価シート	
水源の森林づくり事業の推進	資-2
水源の森林づくり事業の推進（森林塾）	資-3
丹沢大山の保全・再生対策	資-4
溪畔林整備事業	資-5
土壌保全対策の推進	資-6
間伐材の搬出促進	資-7
地域水源林整備の支援	資-8
河川・水路における自然浄化対策の推進	資-9
地下水保全対策の推進	資-10
生活排水処理施設の整備促進	資-11
相模川水系上流域対策の推進	資-12
水環境モニタリングの実施	資-13
県民参加による水源環境保全・再生のための仕組み	資-15
3 水源環境保全・再生施策の効果を示す指標等	資-16
4 モニタリング・評価資料	
(1) 森林モニタリング	資-31
(2) 河川モニタリング	資-40
(3) ダム湖における公共用水域水質調査	資-56
5 施策大綱構成事業実績一覧	資-57
6 施策で実現した効果の経済的な評価	資-65

<県民参加の取組実績>

1 水源環境保全・再生かながわ県民会議の活動実績	資-74
2 市民団体の活動支援実績	資-87

<関連する文献一覧>

1 森林関係	資-89
2 河川関係	資-98
3 制度関係	資-99

